

R5津和野町・鹿野町交流事業報告

令和5年11月16日～17日、津和野町・鹿野町交流事業のため島根県津和野町及び安来市広瀬町を訪問しましたので、次のとおり報告します。

1 目的

歴史的友好交流を展開している津和野町を訪問し、地域課題解決のためのヒントを探るとともに、鹿野町にも縁のある山中鹿介の情報発信に取り組む安来市広瀬町とも連携し、両地域の相互発展に資することを目的とする。

2 テーマ

(1) 亀井さん検定（中級編、上級編）の説明を行い、津和野町の歴史研究家の方に意見交換を行う。

(2) 日本遺産「津和野百景図」の解説や意見交換及び現地視察を行い、連携や活用を模索する。

(3) 山中鹿介の情報発信に取り組む広瀬町の「月山富田城まちづくり委員会」と意見交換し、連携を模索する。

津和野町 参加者氏名	所 属	備 考
松島 弘	津和野町文化財保護審議会会長	
大庭 堅資	日原郷土史研究会 会長	
大岡 正道	// 副会長	
清水 徳秀	津和野町日本遺産センターコンシェルジュ（ガイド）	日原郷土史研究会会員
永田 茂美	津和野町日本遺産センターコンシェルジュ（ガイド）	
岩本 要二	津和野町教育委員会教育長	
青木 貴志	// 次長補佐	(兼)文化振興係長
小杉 紗友美	// 文化財係長	

鹿野町 参加者氏名	所 属	備 考
廣田 敬祐	亀井さん検定実行委員会委員長	鹿野町郷土文化研究会事務局長
河根 裕二	// 副委員長	気高町郷土歴史研究会会長 気高町観光協会会長
村上 光重	// 委員	鹿野町郷土文化研究会副会長 鹿野地区公民館館長
徳岡 義広	// 委員	鹿野町郷土文化研究会会員 鹿野町自治会会長
岡本 幸子	鹿野町総合支所 支所長	
小林 克己	// 副支所長 兼地域振興課課長	

• 亀井さん検定の説明、意見交換

次の資料で取組みを説明した。

岩本教育長からは、児童生徒への講座について「自治体合併により津和野町だけの歴史認識が薄れてきている。検定を通した次世代への発信は良いことだと思う。」との発言があった。

鹿野町でも同様であり両町の将来を担う子供たちへの地域学は重要であるとの認識で一致した。



亀井さん検定の取組み

発端

津和野町交流事業に、いい題材はないか？

令和元年夏。徳岡支所長から小林課長補佐に特命のミッションが下された。（役職は当時）

- 亀井さんにちなんだクイズを作って出題しよう。
- 津和野町の題材も取材しよう。

歴史に疎い者が作れるのか？

- 郷土文化研究会に協力してもらおう。
- 亀井公の功績は鹿野町だけではなく、気高・青谷からも加入してもらおう。

予算はどうする？

- 鹿野地域の魅力アップにもつながる。
- 鳥取市輝く中山間地域創出事業補助金を活用しよう。

令和元年10月 亀井さん検定実行委員会発足

亀井さん検定の取り組み

組織

亀井さん検定実行委員会 委員名簿
(敬称略)

No所属・選出区分	氏名	備考
1 鹿野町郷土文化研究会	原田 堅吉	
2 鹿野町郷土文化研究会	廣田 敬祐	委員長
3 鹿野町郷土文化研究会	寛 寛	副委員長
4 鹿野町郷土文化研究会	足立 雅子	
5 鹿野町郷土文化研究会	村上 光重	
6 道の駅西いなば気楽里	徳岡 義広	
7 気高地域有識者	河根 裕二	副委員長
8 あおや郷土館	奥村 寧子	
9 鹿野往来交流館	蔵本まさよ	

補助制度概要

鳥取市輝く中山間地域創出事業補助金

補助率	4/5
上限補助額	2,000千円 複数年次で取り組む場合は、最大3年累計上限2,000千円
補助金の内容	地域住民、団体等が創意工夫を凝らして中山間地域の活性化を目指し、策定した活性化計画に基づいて展開する事業（ソフト）。 ※過去に本事業による補助を受けた事業で、ステップアップのために新たに展開する事業を含む。ただし、補助する回数は過去の補助を含めて、3回（3ヶ年次）までとする。

亀井さん検定の取り組み

事業計画

R2	ガイドブック・初級編の編成	亀井さんを通じた地域の魅力掘り起こし、発信、次世代育成	津和野町交流事業
R3	ガイドブック・中級編の編成		
R4	ガイドブック・上級編の編成		

検定の実績

年度	階級	申込数 人	受験数 人	合格数 90点以上 上級は70	合格率 %	満点 人
R2	初級	50	44	32	72.7	13
R3	初級	17	12	6	50.0	2
	中級	23	20	11	55.0	0
R4	初級	5	4	1	25.0	1
	中級	6	6	4	66.7	0
	上級	9	8	3	37.5	0

亀井さん検定の取り組み

情報発信



募集チラシ



新聞記事

亀井さん検定の取り組み

検定の様子



検定中、皆さん真剣です

即時採点、認定証・記念品授与



亀井さん検定の取り組み

初年度のプチ検定(入門編)



交流館をスタートし、城下町を一周

地図付きパンフレット

亀井さん検定の取り組み

鹿野学園4年生の歴史講座



講師による解説

児童による発表



亀井さん検定の取り組み

津和野町交流事業(令和2年、オンライン)



鹿野会場の様子

日本遺産センター 清水氏による題材紹介



NHKの
取材



亀井さん検定の取り組み

今後

検定3部作が完成し、講座などにも活用できたが、
受験者は減少している。
実行委員会も、もうそろそろ・・・。

せっかく作ったガイド
ブックや問題の活用
(案)

・鹿野往来交流館(観光案内所、観光協会)
での検定継続、イベントへの活用

・公民館などでの歴史講座、現地散策への活
用

・日本遺産「津和野百景図」の解説及び意見交換、現地視察

日本遺産センターの展示を用いて解説を伺った。

訪問団からは、日本遺産登録が再審査となったことへの対応について質問した。



「地域振興や観光面への活用が不十分だったので、入館者に商店の割引券を配布して城下町全体を周遊してもらうことなどに取組んだ」とのこと。



日本遺産だけでなく文化財は活用することを国から求められている。鹿野も一層の活用が求められている。



・日本遺産「津和野百景図」の解説及び意見交換、現地視察

○津和野踊りと鹿野の亀井踊りは、ルーツが同じなのに踊りや衣装がかなり違うことについて、諸説の意見交換を行った。



○現地視察ではまず訪れたのは、亀井公が津和野移封後に建立した山中鹿介を祀った「幸盛寺」にあった観音堂。今でも津和野踊りの出発はここからとのこと。



・日本遺産「津和野百景図」の解説及び意見交換、現地視察

○江戸時代からある建物の前面は道路に対して少し斜めになっている。お城の方に向けていることで城主に敬意を払っていたのでは、とのこと。



○古い町なみはそのままだが、少しずつ若い世代が新たな店舗を開店してきている。



・日本遺産「津和野百景図」の解説及び意見交換、現地視察

○現役の役場庁舎
改修予定があるがイメージを損なわない設計とのこと。



○現地視察では観光で歩くだけでは聞くことのできない歴史や裏話なども聞くことができた。



・安来市広瀬町・鹿野町交流事業

広瀬町 参加者氏名	所 属	備 考
平原 金造	月山富田城まちづくり委員会 会長	
荒銀 純治	月山富田城まちづくり委員会 副会長兼広報部長	
山根 格	安来市広瀬地域センター長	月山富田城まちづくり委員会 総務部 幹事
酒匂 賢一	安来市広瀬地域センター 地域支援係長	月山富田城まちづくり委員会 事務局
高家 徹	安来市広瀬地域センター 地域支援係 主任	//

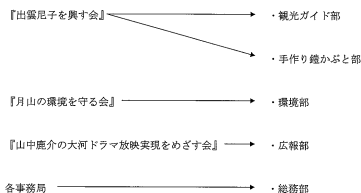


・山中鹿介、尼子氏等に関する広瀬町の取り組み説明

【はじめに】

このたびは尼子関連の活動団体である、『出雲尼子を興す会』、『月山の環境を守る会』、『山中鹿介の大河ドラマ放映実現をめざす会』が統合し、『月山富田城まちづくり委員会』（以下本会）として活動することとなりました。

本会ではこれまでの活動団体を以下のように部に置き換え、それぞれに事業計画と予算を立てて活動します。

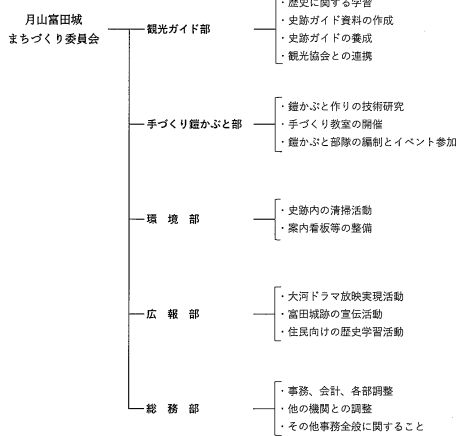


また、相互の連絡調整を図り各部の活動を会員全員が共通の認識を持ち、状況に応じて協力し合える体制も整えました。

また、これまでの活動の中心は尼子氏や山中鹿介に重点を置いていましたが、本会ではそれに加え、多年にわたり整備され全国からも注目される山城、『月山富田城跡』に注目を拡大しその魅力の発信に努めます。

これまでの3団体の歴史と活動を引き継ぎ継承することにより、これまで以上に組織力を高め、運営の効率化を図って、本会の活動がますます活路になるよう力を合わせスタートします。

月山富田城まちづくり委員会の組織体制



・山中鹿介、尼子氏等に関する広瀬町の取り組み説明

・山中鹿介、尼子氏等に関する広瀬町の取り組み説明

・山中鹿介、尼子氏等に関する広瀬町の取り組み説明



・亀井茲矩・山中鹿介に係る鹿野町の取り組みを紹介



鹿野の亀井さん

城山神社祭礼行事(鹿野祭り) 鳥取県無形民俗文化財



城山神社祭礼行事 (鹿野祭り)

◆鹿野城主となった**亀井茲矩**が祇園祭を模して始めたと云われています。

◆亀井家は1617年津和野へお国替えとなり、鹿野祭りは次第に消えていきます。

◆200年後、町衆が鳥取藩に願い出、1813年に再興。現在に至ります。

「祭りが似合う 街並みづくり」

◆1994(平成6)年、「鹿野祭りが似合う街並みづくり」を進めようと城下町の街並み環境整備事業に着手。

◆通りに面した家々には、千本格子が復活し、蓮や藍染め暖簾などが彩を添えています。



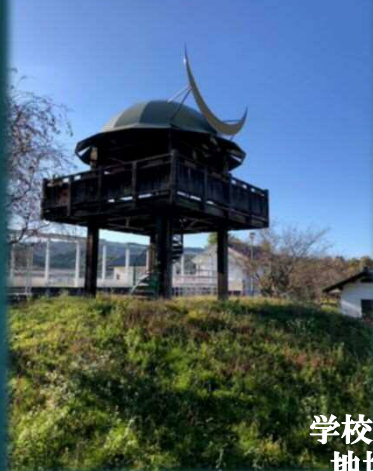


空家を改修した食堂「夢こみち」



虚無僧行脚

鹿介の兜を配した東屋



村々切らざる木のビオトープ

学校全部が教材! 鹿野学園流沙川学舎
地域の心・亀井公の心を未来へつなぐ

鹿野ふるさとミュージカル

鹿野に祭りが 蘇る日



鹿野ふるさとミュージカル

踊り見の城



～歌と踊りで金剛城を攻略～ 亀井踊り



◆亀井踊り◆
鳥取県指定無形民俗文化財



同じ由来を持つ
「津和野踊り」

島根県津和野町

出雲奪還の夢が潰えた時
理想の国造りが始まった



鹿野ふるさとミュージカル「踊り見の城」より山中鹿介



「亀井さん検定」スタート



【令和2年度】プチ検定・初級検定
【令和3年度】初級・中級検定
【令和4年度】初級・中級・上級検定

“これからも
「亀井さん」を語り継ぐために
最大級の敬慕を込めて”

- 安来市広瀬町・鹿野町交流事業 意見交換
資料を用いてそれぞれの取り組みを紹介した後、意見交換を行った。

広瀬町

- 市からの助成減、活動の工夫で乗り切る
- 活動をマスコミに掲載、市長にも参加してもらう
- 高校生、小中学生の参加
- 他自治体との連携、松江・米子とスタンプラリー
- 城跡ライトアップ好評、高校生が参加

鹿野町

- 城山まもりたいの環境整備活動
- あかり本願衆のライトアップ・ボンボリ点灯活動
- 鹿野学園児童生徒の参画

大河ドラマ化などの広報活動だけでなく、城跡の維持や活用など幅広い交流・連携をしていきたい